

（１）複合交流拠点整備事業について

はじめに、令和7年春の開館を目指し、現在、基礎工事を進めております複合交流拠点 についてであります。この施設は「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」をテーマとした、生涯学習、子育て支援、地域交流の拠点として、また、市民の新たな居場所として、市民がみずから、その運営に携わっていくことを目指しております。

本年度は、その整備に向けたソフト事業として、市民参加の公開セミナー、および、ワークショップを開催いたします。この事業の全体コーディネーターは、司書として図書館に勤務経験があり、まちづくり会社などで活躍されている関 幸子(せき さちこ)氏が務め、図書館の分野は岡本真(おかもと まこと)氏、子育ての分野は羽崎 泰男(はざき やすお)氏、それぞれ専門の方にご参加いただくものであります。

まず今回、募集を開始いたします公開セミナーについては、広く市民の方を対象としており、8月5日と、10月7日、各土曜日の2回を予定しております。主な内容は、全国で行われている市民が主体となっているまちづくり事例や、図書館と子育て支援の各分野における市民主体の活動事例の紹介、また、その活動の受け皿となる組織について、学ぶものであります。

セミナー終了後は、複数回のワークショップを開催し、参加者がそれぞれ、複合交流拠点において何ができるか、施設の運営に、どのように携わっていただけるかを考えてまいります。将来的には、このワークショップを通じて、施設の運営に携わるNPO法人などの団体を組織することも見据え、開館に向けた活動を進めてまいります。

（２）真岡市合葬墓地整備の概要について

次に、真岡市合葬墓地の整備についてであります。令和6年秋の供用開始を目指し、今月中旬以降、工事に着手する予定となっております。

合葬墓地は、少子高齢化など、社会情勢の変化に伴い墓地ニーズが多様化する中、管理や費用負担が少なく、お墓を引き継ぐ人がいない方でも利用できる墓地であり、市民アンケートにおいても、およそ6割の方から「合葬墓地が必要である」との回答をいただいているところであります。

場所は長田霊園内の敷地で、3,000体を収蔵できる規模で整備いたします。形態は、盛土にしたマウンド型で、お骨を納める施設であるカロートを地中に設置し、上部にフタを付け、お骨を下ろして埋蔵する手法といたしました。形状については、市民アンケートの結果を踏まえたもので、全体を円形のデザインとし、中央に祈りの対象となる球体のモニュメントを配置するほか、樹木葬のイメージを取り入れるため、シンボルツリーを植栽いたします。墓地の周囲には、献花台を6カ所、設置いたしますので、お骨が埋蔵されているカロートの前から参拝していただくことを想定しております。

また、申し込み方法や料金設定など詳細については、今年度末を目途に決定できるよう、今後、調整を進めてまいります。

（3）「真岡市海外友好都市紹介展示ブース」の設置について

次に、真岡市海外友好都市 紹介展示ブースについてであります。より多くの方に本市の海外友好都市を知っていただくため、市役所1階の市民ロビーに設置いたしました。

先月、5月11日、長年にわたり友好親善を深めてまいりました台湾・斗六市と友好都市の協定を締結したことにより、本市の友好都市は、アメリカ合衆国のグレンドーラ市、オーストラリアのハーヴィー市とあわせて、3市となりました。各ブースでは、それぞれの都市の概要やこれまでの交流経過などを紹介するパネルのほか、締結書や記念品などを展示しております。

また、斗六市については、この常設ブースとは別に、今月限りの特別展示として、調印式の際に寄贈していただいた記念品や現地での様子などを紹介しております。この展示ブースの設置を契機として、市役所を訪れた多くの皆さんに、真岡市の海外友好都市について興味を持っていただき、それぞれの都市について、さらに理解が深まることを期待しております。

（4）「もおか市合同就職面接会」の開催について

次に、もおか市 合同就職面接会についてであります。7月7日、月曜日、フォーシーズン静風で開催いたします。今回、参加される企業は、

市内に事業所がある21社で、企業名については、現在、市ホームページに掲載しております。

面接会に参加できる方は、来年3月に、大学・短大・専門学校などを新規卒業予定の方、および一般求職者の方で、当日は、企業ごとのブースで、お一人ずつ面接を行います。参加を希望される方は、6月30日、金曜日までに、ハローワークの窓口にて、面接を希望する企業の紹介状の交付を受けてください。

市内には魅力ある企業が数多くあります。当日は、複数の企業と面接することも可能ですので、市内で就職を希望されている方は、ぜひ、この機会をご利用ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

（5）教育国際交流事業について

次に、市内中学校における教育国際交流事業についてであります。今年度は、令和2年度以降、3年間中止していた生徒の海外派遣と、受け入れを伴う交流を再開してまいります。

真岡西中学校では、今年度が台湾斗六市・正心高級中學との姉妹校締結30周年にあたることから、相互交流の実施について相手校からの要望を受け、7月に受け入れ、11月に派遣の双方を実施する予定となっております。

大内中学校については、今年度新たに、友好都市である台湾・斗六市内の学校へ派遣することについて検討を進めております。

二宮地区の長沼・久下田・物部中学校の3校については、友好都市であるオーストラリアハーヴィー市のハーヴィー・シニアハイスクールを訪問し、姉妹校締結を目指した交流を深めてまいります。

本市では、今後も引き続き、教育国際交流による体験的な学びを通じて、子どもたちの国際的な視野を広げ、豊かなコミュニケーション能力の育成に努めてまいります。

（6）「第40回真岡井頭マラソン大会」の開催について

次に、真岡井頭マラソン大会についてであります。本年度、4年振りに、第40回大会として、10月1日、日曜日に開催いたします。

開催場所は、例年と同じ、井頭公園をスタート・ゴールとする特設コースで、メインとなる一般の10キロコースをはじめ、中学生および一般の4キロコース、小学生および親子ペアの2キロコースがあります。

また、今回から新たに、参加賞、および、走るときにつけるナンバーカード等を事前に送付するサービスを開始いたします。参加料につきましては、事前送付にかかる経費や、資機材高騰などの影響により、全種目とも500円の値上げをさせていただき、一般3,500円、小中学生1,500円、親子ペア2,500円となっております。現在、参加を受付しておりますので、希望される方は、7月17日、月曜日までに、インターネットなど、各種窓口でお申し込みください。

真岡井頭マラソン大会は、市内をはじめ関東地区を中心に、全国各地のマラソン愛好者から親しまれている秋の一大スポーツイベントであります。ぜひ、多くの方に参加していただきたいと思っております。